

主な出演者



©山岸伸

10月公演 10/15 SUN

指揮 *Conductor*

飯森 範親

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2006年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、2007年より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、2022年より同楽団桂冠指揮者。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。
オフィシャル・ホームページ ▶ <http://iimori-norichika.com/>



©武藤章

10月公演 10/15 SUN

ピアノ *Piano*

上原 彩子

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。
これまでに、ヤノフスキ、ノセダ、ルイージ、ラザレフ、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、尾高忠明、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。
2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、「デビュー20周年記念コンサート・ライブ盤」等4枚がリリースされている。
東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。
公式HP ▶ <https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>



11月公演 11/19 SUN

指揮 *Conductor*

小林 研一郎

東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタベスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。
これまで国内外のオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。
旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞、ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章等を受賞。
2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。
現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授等を務める。
公式サイト ▶ <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



©Kiyotaia Saito (SCOPE)

11月公演 11/19 SUN

ヴァイオリン *Violin*

千住 真理子

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。2020年はデビュー45周年を迎えた。これまでにリリースされたCDは数々の賞を受賞。2022年は最新アルバム「ポエジー」をリリース。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。
オフィシャル・ホームページ ▶ <http://marikosenju.com/>



9月公演 9/17 SUN

中村 千鶴 ヴァイオリン
ハイドン/ヴァイオリン協奏曲 第1番



©S.Nishikawa

パイプオルガン・
クリスマスコンサート 12/17 SUN

小林 英之 パイプオルガン
パイプオルガンの響き(独奏)



パイプオルガン・
クリスマスコンサート 12/17 SUN

今尾 滋 テノール
クリスマスキャロル



パイプオルガン・
クリスマスコンサート 12/17 SUN

富山 律子 ピアノ
バッハ/ピアノ協奏曲第1番